

トッパーリーダーセミナー

「学位プログラムをいかにマネジメントするか」

山本 啓一（北陸大学 経済経営学部 教授）

講師略歴

1999年一橋大学法学研究科博士課程修了。博士（法学）。2001年九州国際大学法学部。2008年から2012年まで同大学法学部長をつとめ、初年次教育改革、カリキュラム改革等を手がける。2016年より北陸大学。2017年から2020年まで経済経営学部長をつとめる。4年間で経済経営学部の志願者を4.0倍、入学者を2.5倍に増加させた。初年次教育学会理事。『北陸大学経済経営学部の経験と課題 - 教学マネジメント体制の構築に向けて-』（IDE 2020年11月号）、「コロナ禍におけるリスクマネジメント～北陸大学の事例」『大学マネジメント』Nov、2020など。

プログラム概要

近年、「学長のリーダーシップ」のもとで大学改革が進む一方で、「学部が動かない」という声も聞かれることが多い。学位プログラムレベルのマネジメントの必要性が高まっている。

講師は（全く特色の違う）2つの大学で学部長職をつとめた。それらの経験をふまえ、学位プログラムのマネジメントには次の5つの観点が必要だと考える。

- ①「差別化戦略」にもとづくコンセプト及びポリシーの策定
 - ②正課カリキュラムを通じた「質保証」を実現する教育改革
 - ③教職員の「組織開発」を通じた協働体制と「インクルーシブな教育環境」の構築
 - ④ステイクホルダー（高校、保護者、地域、企業）との「関係構築」
 - ⑤以上を「学修者本位」の観点から「有機的に関連」させるシステム作り
- 以上の話題提供をもとに、学位プログラムのマネジメントに関するポイントや課題について、グループディスカッションや全体討議を通じて、参加者全員で考える機会としたい。

準備物・事前課題

所属大学のカリキュラム関連資料（3つのポリシー、学生便覧等）

主な受講対象者

カリキュラム・マネジメントや教学マネジメントに興味関心のある教職員

到達目標

1. 本プログラムに参加する教職員同士で、ともに学び合う雰囲気作りに貢献できる。
2. 学位プログラムをマネジメントするためのポイントや課題について、講師が提供する話題をふまえ、自分なりの意見を述べることができる。
3. 自分自身の経験をもとに、学位プログラムのマネジメントに関して、自大学で今後取り組むべきことを説明できる。

日時

8月26日(木)12時30分～14時30分